

BTL-47532

BTLパワーアンプ

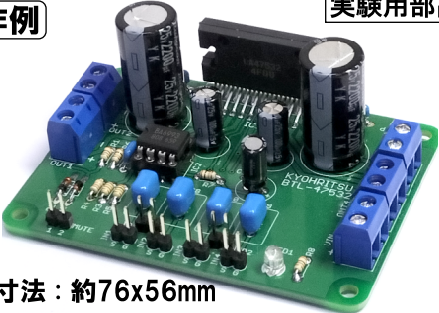
10Wx4チャンネル

部品セット

LA47532 BTL-AMP Parts Set

製作例

実験用部品セット



基板寸法：約76x56mm

☆車載用BTLアンプIC LA47532を使用した
10Wx4チャンネルのパワーアンプ部品セット

☆これ1台でバイアンプ接続や簡易サラウンドも
楽しめる

※ヒートシンクは別途用意してください

主な仕様

◎定格出力：10Wx4チャンネル(@4Ω)

◎電源電圧：DC 12V 5A(2チャンネル使用時)

※4チャンネル使用時は8A以上の電源が必要です

※予告なく変更することがあります

☆部品表 ※予告なく変更することがあります

	シルク印刷の 番号	品名/型番/値	数量	備考
1		基板 BTL-47532	1	
2	IC1	パワーアンプIC LA47532	1	
3	IC2	コンパレータIC BA6993	1	LM393相当品
4	D1	ツェナーダイオード 0.5W 5.1V	1	5.1Bの表記
5	D2	小信号ダイオード 1S1553	1	T3の表記
6	LED1	LED 3φ 赤	1	
7	R1, R8	1/4W カーボン抵抗 1kΩ(小型)	2	茶黒赤金の色帯
8	R2, R6, R7	1/4W カーボン抵抗 10kΩ(小型)	3	茶黒橙金の色帯
9	R3	1/4W カーボン抵抗 750Ω(小型)	1	紫緑茶金の色帯
10	R4	1/4W カーボン抵抗 4.7kΩ(小型)	1	黄紫赤金の色帯
11	R5	1/4W カーボン抵抗 1MΩ(小型)	1	茶黒緑金の色帯
12	C1, C2	電解コンデンサ 25V 2200μF	2	
13	C3, C4, C12	積層セラミックコンデンサ 50V 0.1μF	3	104の表記
14	C5, C6	電解コンデンサ 25V 100μF	2	
15	C7, C8, C9, C10	フィルムコンデンサ 50V 0.47μF	4	474の表記
16	C11	電解コンデンサ 50V 3.3μF	1	
17	IC2用	ICソケット 丸ピン 8ピン	1	
18	VIN, OUT1, OUT2, OUT3, OUT4	ねじ式ターミナル(青) 2P	5	
19	IN1, IN2, IN3, IN4, MUTE, JP1, JP2	ヘッダピン 1列 2P	7	
20	JP1, JP2	ショートピン	2	

電子パーツ・マイコン・メカトロ・オーディオ

デジット

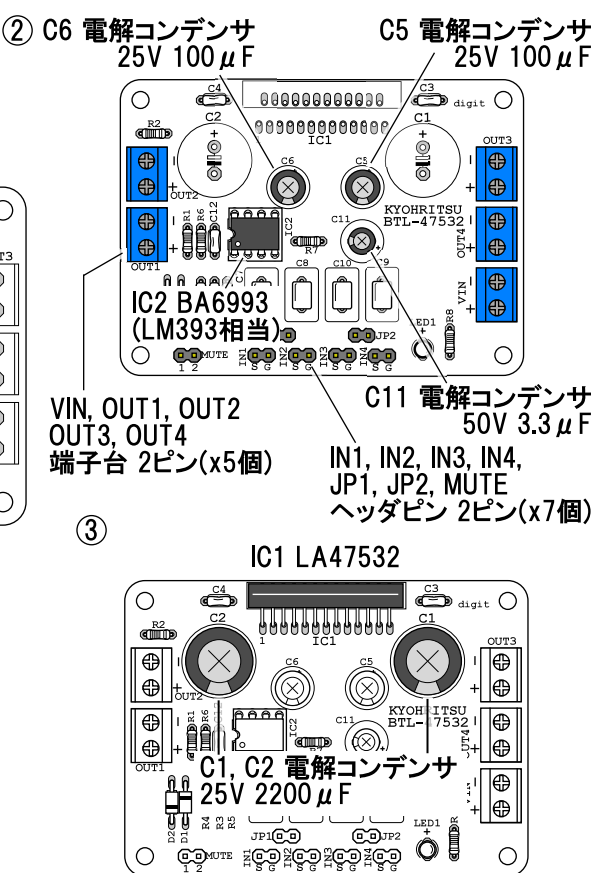
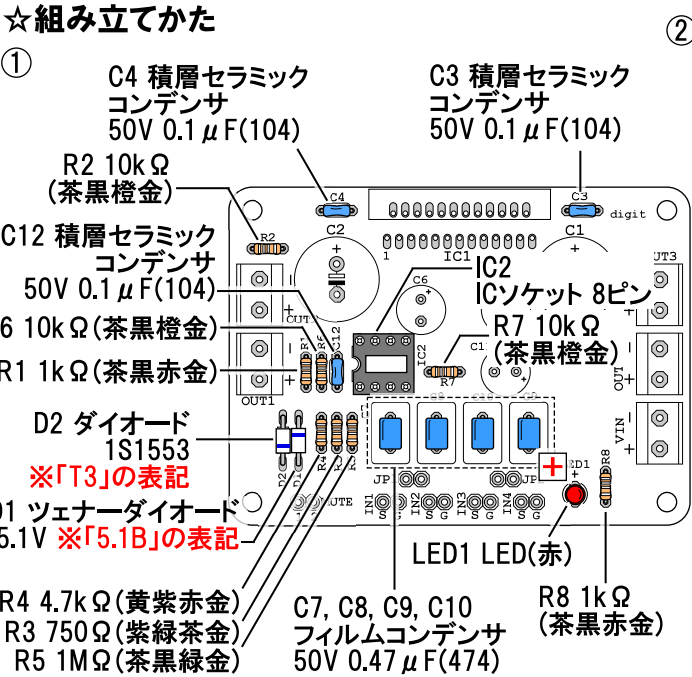
〒556-0005 大阪市浪速区日本橋5-8-26
(シリコンハウス3F)

(月～土)10:30～19:30 (日・祝)10:00～19:00

[TEL]06-6644-4555 / [FAX]06-6644-1744

[HP]http://digit.kyohritsu.com

[Blog]http://blog.digit-parts.com [Twitter]@0666444555



☆接続例

◎アンプICの放熱について

アンプIC(LA47532)はヒートシンク(別売)に取り付けて使用してください。

推奨ヒートシンクは370N78H-100-B(寸法: 78Wx100Hx37Dmm)です。これ以上のサイズのヒートシンクをご使用ください。

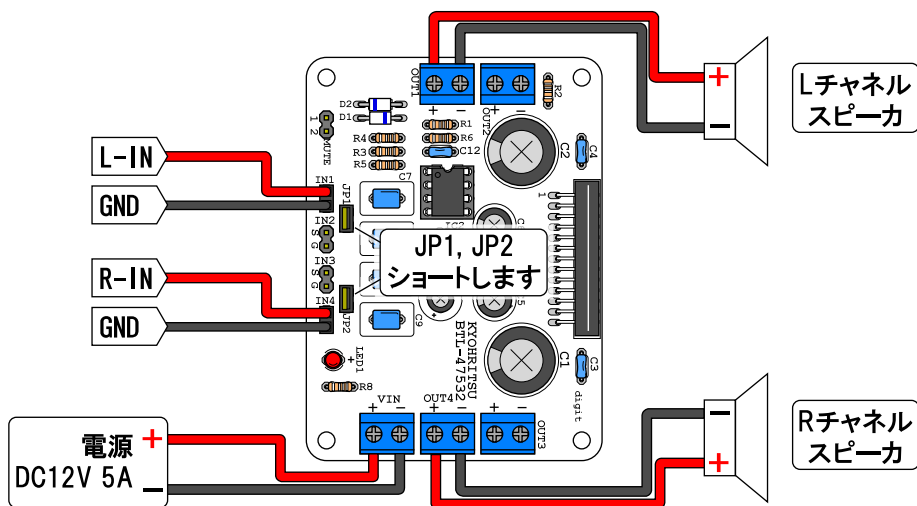
◎電源について

通常のステレオアンプ(2チャンネルのみ使用)として使用する場合は12V 5A程度の電源をご使用ください。

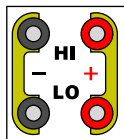
(例: ACアダプタ WA-12500S)

4チャンネル使用の場合は余裕を見て12V 8A以上の電源(スイッチング電源ユニットなど)をご使用ください。

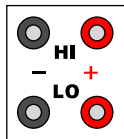
① 通常のステレオアンプとしての接続



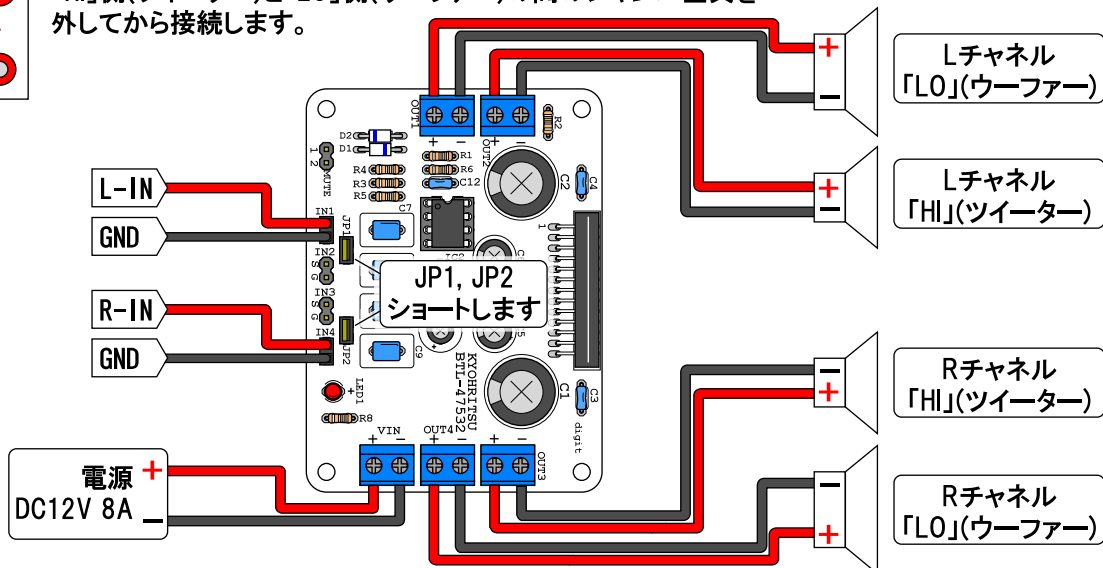
② バイアンプ方式 2Wayスピーカの駆動



スピーカ背面の端子が左図のようになっているタイプのスピーカをバイアンプ方式で鳴らすための接続です。



「HI」側(ツイーター)と「LO」側(ウーファー)の間のジャンパ金具を外してから接続します。

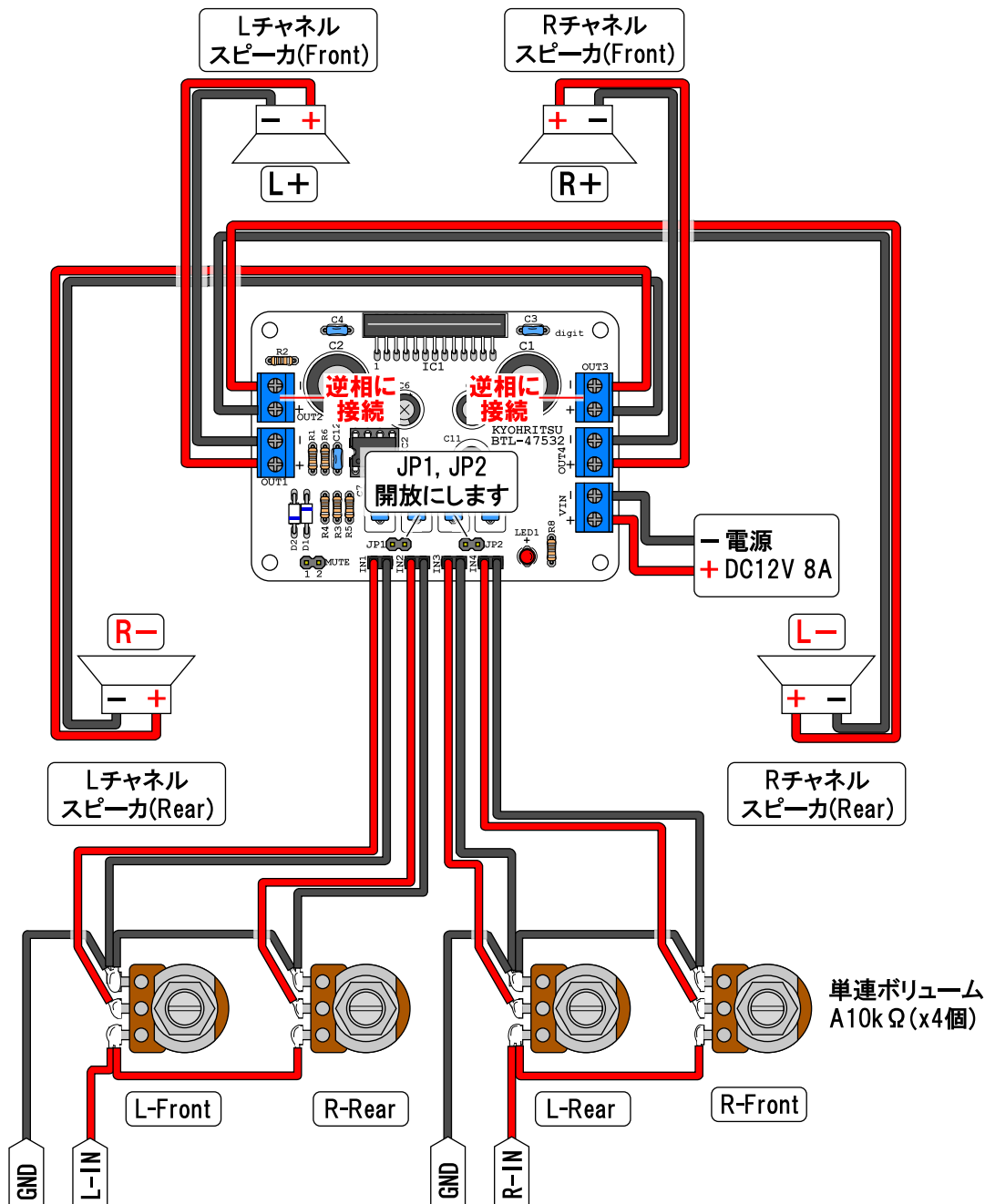


③ 簡易サラウンド接続

後ろ(リア)側にスピーカを設置し、逆相の信号で鳴らすことによって、疑似的にサラウンド効果が得られます。リアの左側は右チャンネルの逆相の信号(R-)で、リアの右側は左チャンネルの逆相の信号(L-)で鳴らす接続です。

リア側の音量を調節することによって、音の広がり感が変わります。スピーカの置き方によっても変わりますので、試してみてください。

リア側を左チャンネルと右チャンネルの差の信号 (L-R, R-L) で鳴らす「マトリックス接続」はしないでください。



☆回路図 ※予告なく変更することがあります

